

町田市議会議員・ネット発信NO.1

# 吉田つとむ

ユーチューブ動画 860万回再生を突破



## 町田市民病院の初診・再診料大幅引き上げ

町田市民病院の初診・再診料が、10月1日より、大幅に引き上げになります。

内科 初診 5,500円(税込)⇒7,700円(税込)

内科 再診 2,750円(税込)⇒3,300円(税込)

歯科 初診 3,300円(税込)⇒5,500円(税込)

歯科 再診 1,650円(税込)⇒2,090円(税込)

これは国の告示に元づくもので、かかりつけ医(いわゆる町医者)の紹介状をもっていけばかからないというものです。

町田市民病院は、「まずはお近くの診療所かクリニックでご受診してください」と進めています。国の政策で、町田市民病院のような規模の病院は、地域の診療所、クリニックなどからの紹介によって医療を行う二次医療機関とされています。また、症状が安定した患者には、近くの「かかりつけ医」を紹介するシステムを取っています。

特に、市民病院に通院する患者宛の「重要なお知らせ」では、予約を無い状態で受診機関が3ヶ月以上の場合、初診扱いになることがありますとも記しています。さらに、通院中以外の診療科にかかる場合は紹介状を持ってください。それが無いと、原則診療科ごとに初診時選定療養費がかかりますと注意を喚起しています。



◎町田市議会は定数 36 名。大多数はそれぞれの会派に所属しますが、会派に属しない諸派議員が 4 名です。吉田つとむは、「無所属」という会派に所属しています。議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。

その会派「無所属」の 3 名は、採決において、自由に賛否を決める場合があります。

## デジタル教科書導入は英語から

ようやく、教科書にもデジタル化の時代がやってきます。手始めは、「英語」の教科書でその利点は、文章の音訳がリアルタイムで可能なことでしょう。人(教師の読み)でなく、全てがデジタル化した情報として扱え、理想的な発音による読みが可能で、また、その発音のスピードを速くも遅くも調節でき、個人差に適用しています。



3年前からの新型コロナの影響が長引く中で、教室や自宅でもパソコンやタブレット端末を利用する機会が増えたのですが、なぜか、教科書にはデジタル化の導入が進みませんでした。しかし、教科書のデジタル化は、インターネット環境が整う前から進められており、英語に限らず、各科目で先進的な教科書会社で開発が行われてきました。そのため、過去にもいつでも、導入できたものでした。それを文科省の後進性ゆえに、小中学校への導入、配布が進まず、世界の中ではいつの間にか、日本は後進国になっていた次第です。

デジタル教科書講習は、研修で何度も採用

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726

yoshidaben@gmail.com



## 高校生の医療費無料化について

東京都の方針で、来年4月から高校生の医療費を無料にする計画が進められていますが、その実施は各自治体が行います。名称は、「町田市高校生等医療費助成事業」と名付けられています。

高校生の医療費無料化(保険診療の自己負担分の助成)の内容ですが、実際には所得制限が設けられ、\*配偶者+子2人の扶養で、年収960万円未満とされています。その対象人数見込みは、9,331人/12,500人とされています。ただし、23区部では、区側の自治体負担でその所得制限を外す方針が固められています。多摩地域の自治体と大きな差ができることになり、当然、町田市も行政負担で23区部と同じようにしてほしいという意見が出てくるのは目に見えています。

市長の考えは、「財源に限りがある」というものかもしれませんが、議員の見方では、財政の支出を何に使うかを決めるのが政治であり、必要ならば他の物をカットする大胆さが欠かせないと思います。その意味では、市長が推進する最大の箱ものである「(仮称)国際工芸美術館」の建設を見合わせるか、先送りにするのが最も効果的な方法でしょう。



◎水耕栽培メロン 世界一決定戦を開催しよう! (新スローガンを提起しました)

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています

## 町田駅デッキの改修工事契約

今期の工事契約案件ですが、内容は、ペDESTリアンデッキ長寿命化修繕計画に基づき、バスセンター上部のデッキを改修する工事請負契約です。工事目的は、町田駅のデッキの耐用年数を増やすために実施するものです。

1、柱や梁の塗り替え、2、壁面の上部を耐久性が優れた「フッ素樹脂焼付塗装アルミパネル製に更新、3、壁面下部は、紫外線硬化型FRPシートで鋼材を保護する補修を行うことになっています。



この工事が実現すると、以前から、たびたび質問していたことですが、ペDESTリアンデッキの塗装のはがれや鉄骨の錆が目立ち、町田駅を中心街を暗くしていたことの改善の一つにつながります。この契約案件を見ると、工事期間が12月11日までとされ、正月前には、横浜線と小田急線の行き来と、バスセンターへの出入りに際して、はるかに明るい印象を与えることでしょう。

若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP  
メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、夏季の第50期生がスタート

## インターン体験記②近藤 咲月

本日は八王子市役所を訪れ、都市戦略課長の中正さんにお話を伺いました。その中で八王子市が都市開発において「中核市」に移行した背景・過程や移行による効果を知ることのできるとても貴重な機会となりました。八王子市が中核市に移行後の効果として、東京都を通して行っていた申請類を八王子市内で一体的に行うことでスピードアップと効率化を図ることができるようになったというお話が印象的でした。このことは職員だけではなく、住民にとってもメリットとなり住みやすさにも繋がっていると思います。このように市によっても行うことのできる業務に範囲があることを知り規模が大きくなる程、他の市との連携も必要であることが分かりました。

お話を伺っている中で八王子市の現状について知ることはできましたが、自分の市について振り返って考えてみるとなにも知らないことに気づきました。自分の住んでいる市がどのような政策を行っていてどのような効果を得ているのか、関心を持つことの大切さに気付いた一日となりました。



- ◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年8月末までに103名が参加しました。
- ◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。
- ◎夏季のインターンシップは引き続き第50期生となりますが、合計3名が参加中です。

## インターン体験記②近藤 咲月

本日は町田市内の保育園を二箇所見学させていただきました。「光の森保育園」では子ども達の活気が溢れるなか園内の様子を自分の目で見る事ができました。見学の中で自分自身が幼稚園出身ということもあり、0歳から5歳までの子ども達が同じ空間で過ごしていることにとっても「保育園」らしさを感じました。「光の森保育園」ならではの取り組みでは職員の方一人ひとりがiPadを持ち、常に園内の情報を共有できるようにすることで職員の方同士の連携強化を図っているのだと知ることができました。



「ねむの木保育園」は五感を使って豊かな自然に触れる「ネイチャーゲーム」や積極的に木でできたおもちゃを使用する「木育」といった子ども達が自然に触れる機会を多く設けていると感じました。自然に触れる機会は大人になるにつれて減っていくため、このような機会を子ども時代にたくさん経験することの大切さがあるのだと思います。また「ねむの木保育園」の特徴として子ども達が主体性を持つことが尊重されており、新しい遊具を危険なく遊ぶためのルール作りにも子ども達の声を取り入れるなど、大人が子ども達に主体性を持って行動できるよう促すことが保育では必要なのだと感じました。

昭和女子大学2年生 近藤 咲月(第50期)

インターンシップで若者育成の貢献  
町田市議・完全無所属・良識ある保守

# 吉田つとむ



好評インターンシップは、欠かさずに続いている

## インターン体験記③下津陽菜乃

今回は町田市バイオエネルギーセンターに伺いました。生ごみのバイオガス化施設とごみ焼却施設を一体的に整備した首都圏初の施設であり、「熱回収施設」、「不燃・粗大ごみ処理施設」、「バイオガス化施設」の3つの施設に別れています。そもそもごみ処理はどのように行われているのかを知らなかったため、実際に見学することでごみ処理の工程について学ぶことができました。町田市バイオエネルギーセンターでは排ガス状況を見ることができましたが、法規制値を守るだけではなく、自主規制値を設けて排ガスを抑える取り組みを積極的に行っているそうです。

特に印象に残ったのはバイオガス化施設です。ここでは燃やせるごみの中から生ごみなどの有機性のごみを選別し、微生物の働きにより発酵処理し、バイオガスを発生させ、発生したバイオガスを利用し発電を行っているそうです。また、町田市バイオエネルギーセンターではバイオガス発電だけではなく、蒸気タービンや太陽光、水力、風力でも発電を行っているそうです。再生可能エネルギーへの注目やカーボンニュートラルな社会の実現のための取り組みが進む中で政府や企業の取り組みについては見たことがあったのですが、市が行っている取り組みは見たことがありませんでした。市も積極的に環境問題に取り組んでいくべきなのだと感じました。

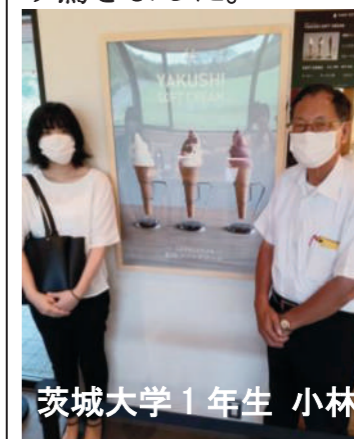


昭和女子大学3年生下津陽菜乃(第50期生)

- ◎吉田つとむのインターンシップは、参加者との個別対応が特徴です。
- ◎吉田つとむのインターンシップは、社会人になった先輩インターン生との直線面談が好評です。
- ◎吉田つとむの元インターン生は、一般企業就職が最大で、次いで公務員。弁護士が3人。

## インターン体験記①小林 怜奈

今回は東京都町田市にあります薬師池公園四季彩の杜エリアの玄関口として2020年4月にオープンした西園のカフェ 44APARTMENT 薬師池店に行ってきました。私はここで提供されている町田産の牛乳を使った薬師ソフトクリームを頂きました。店内からは大きな窓から整備された芝生広場を望むことが出来、小さいお子さんをつれた家族連れや高齢者の方々の憩いの場となっていました。私は町田出身ですが初めてこのような自然豊かな場所があり地元食材を堪能できる場所があると知り驚きました。



茨城大学1年生 小林 怜奈(第50期生)

カフェ以外にも料理教室やクラフト作り教室が開催されているラボ・体験工場や野菜作りや果樹の摘み取りの出来る体験農園、新鮮な町田市農産物や町田市名産品等が販売されている直売所、荷物なしで自然を楽しめる薬師BBQがあります。直売所では主に今が旬のブルーベリーやバターナッツかぼちゃや卵等の地元で採れた農畜産物や洋菓子や調味料、加工品などの町田市名産品、町田産農産物を使ったワインや日本酒が売られていました。個人的にどれもあまり見かける機会が少なく感じており、今後何かしらの形で町田名産品のPR活動が展開されないかと思いました